

りいぶる



表紙デザイン作者：中畑康代さん（イラストレーター、和歌山県和歌山市在住）

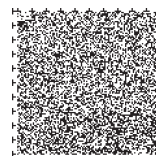
今号の
注目記事

りいぶる★アイ 特集 りいぶる20周年記念事業

魅力ある！女性リーダー養成講座

「みんなに男女共同参画」提案事業

りいぶるフェスタ 2018





人生 100 年時代、優先順位をつけて、今、開いている 2 番目以降のドアを閉じて、自分らしい人生をイキイキ生きるための、残間さん流の秘訣をお話しくださしました。

残間里江子さん講演会

「自分らしい生き方を見つけよう！ ～イキイキ人生のために～」

平成 31 年 3 月 3 日(日) 和歌山ビッグ愛 大ホール



はじめに『男女共同参画社会』とは「男女が意欲に応じて、あらゆる分野において活躍できる社会」であり様々な多様性を受け入れる社会だと説明され、テーマの「自分らしい生き方」については「自分らしくないことはしたくない」と考えていること、また「誰かの迷惑にならなければ、願わくはこうありたい」というビジョンをもってやりたいことをやろうと思っていると語られました。イキイキ生きることはいつも意識していると話され、「意地、根性、見栄」は大事で「みっともないこと」はしたくないと思いながら生きている、制約は誰にもあるけれどそれに鍛えられて今日までできたと振り返られました。

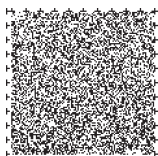
次に、女性の職場環境や制度のひずみについて語られ、最近は産休や育休制度が整備されてきているが、男女雇用機会均等法施行当時の第 1 期生で現在 50 歳代後半くらいの、子どもを産み終わった人、結婚しているが子どもがいない人、結婚していない女性たちにしわ寄せがきていると指摘されました。女性は部長職には就いていても、男性ほど役員など企業を左右するポストを与えられていないとしたうえで、仕事に熟達した彼女たちは、かつて団塊世代の男性上司の頼もしいパートナーであったが、上司の定年後は自身の更年期障害や老親介護等の事情を抱えながら産休や育休の支援にも回り、仕事の負担が増えている現実があると話され、産休や育休は必要だが制度にもひずみがあり、子どもを持ちたくても叶わない人たちにも光をあててほしいと指摘されました。

講師自身も出産と育児で随分鍛えられたと語られ、仕事をしながら誰にも知られずに出産し、出産後も 3 日目にプロデューサーとして横浜アリーナで仕事をした経験を紹介されました。さらに子育てをするなかで、子どものお弁当や学校で使う雑巾作りなどに手をかけ過ぎ夜ふかししたことを例にあげ、子育てに不安感を持ち“母親らしさ”や“3 歳児神話”にとらわれていた自身の経験をもとに「敵は自分のなかにいる」と振り返るとともに、世間が求める“母親らしさ”にとらわれる必要はないのではなかと話されました。

最後に、自身が心がけている“イキイキ人生”のための 5 つの指針を示して講演を結ばれました。

“イキイキ人生”のための 5 つの指針

- I 『ビジョンをもつこと』 目標を立て、すぐにできなくても、1 年後、3 年先でもいいが、できるように工夫する。
- II 『人のせいにならない』 あくまでも自分の人生だから。
- III 『優先順位をつける』 山口百恵さんの生き方を例に引いて、限りある人生だから閉じる大切さを考え、2 番目以降の開いているドアを閉じて生き方を絞ることが必要。
- IV 『“独り”に強くなる』 絶対孤独時間（自分に徹底的に向き合う時間）をもつ。独りになれば自分のことも見えるし、周囲の人の大切さもわかる。
- V 『決してあきらめない』 恥をかくかもしれないが、恥をかいてもやる方がよい。



イベント 男女共同参画ワールド・カフェ

～男子会×女子会 学生だけの本音ミーティング in 和歌山～
平成30年11月17日(土) “りいぶる”会議室A



若い世代に、男女共同参画社会への理解を深め未来に生かしてもらおうと、大学生を対象に開催しました。当日は和歌山大学と和歌山信愛女子短期大学の学生、計43人の参加があり、リラックスした雰囲気のなか活発に意見交換しました。最初に金川めぐみ和歌山大学経済学部准教授から男女共同参画の現状等を聴き共通認識をもった後、「私の未来想像シート」に記入し、『男女の違いや共通点』『自分の理想の未来の実現に必要なこと』などをグループで率直に話し合いました。最後に、“理想の未来を実現するためのキーワード”をグループごとに発表し全員で共有しました。一人ひとりが、それぞれの未来を具体的に考える時間となりました。

※「ワールド・カフェ」：少人数のグループで話し合い、1ラウンドごとにホストのひとりを残してあとの参加者が他のグループへ移動(席替え)する形式で、あたかも参加者全員で話し合っているような効果が得られるワークの手法。

“りいぶる”シアター

2/27～3/1までの3日間、1日3回、保育付きで“りいぶる”所蔵のDVDを上映し、のべ62人の参加がありました。「お茶を飲みながらゆっくり観られてよかった」「毎週開催してほしい」などの声をいただき、好評でした。



【上映作品】

『ブタがいた教室』『折り梅』
『僕らは歩く、ただそれだけ』
『デザート・フラワー』
『ロング、ロングバケーション』
『マダム・イン・ニューヨーク』
『ミラクルバナナ』
『アルバート氏の人生』
『幸せになるための恋のレシピ』

ヒューマンライブラリー

ヒューマンライブラリーとは、「人を貸し出す図書館」。語り手を「本」になぞらえ、図書館で本を読むように直接対話することでお互いに理解を深め、生きている「本」を楽しむものです。

【ヒューマンライブラリー りいぶる】

平成31年1月26日(土) 13:30～14:45

この日はがん経験者、同性愛者、里親経験者の方が「本」となり、参加者は延べ40人となりました。参加者はうなずきながら話に聞き入ったり、質問や共感の言葉を「本」と交わしたりされていました。「知らない世界を知ることができた」「直接会って生のお話をきけて良かった」などの感想をいただきました。



ることができた」「直接会って生のお話をきけて良かった」などの感想をいただきました。



【ヒューマンライブラリー Night】

平成31年2月27日(水) 19:00～20:15

性同一性障害者、女性経営者、夫婦別姓の方が「本」となり、延べ33人の参加がありました。ハンカチで涙をぬぐいながら聞く方や、質問をする方、「本」も挿絵を見せたり、PCを使って説明するなど、活発な対話の様子が見られました。「短編小説を読んだ感じです」「話し手の熱意が直接伝わってきました」などの声がきかれ、今後も継続して開催していく予定です。



語り合い広場 「自己肯定感を育もう。～あなたはあなたのままでいい～」

講師 小田裕子さん(女性ライフサイクル研究所フェリアンカウンセラー・臨床心理士・社会福祉士)

平成31年3月1日(金) 13:30～15:30 “りいぶる”会議室A

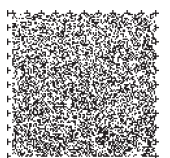


講座のはじめに、タイトルの自己肯定感とは「評価の自己肯定ではなく、ゆるしの自己肯定(困難な状況をあえて“認め、ゆるす”こと)」であり、「ダメなところを抱えながらもがんばって生きている自分を『まあいいか』と大目に見てやれること」との共通認識を持ちました。

自己肯定感を育むためには、①自分にアンテナを向ける ②自分を知る ありのままの自分と向き合う ③自分を理解しながら、自分とともに生きていく ④自分の心と体と頭に相談しながら生きていく ⑤自分

軸を持ちながら人と、社会と、命とつながって生きていく の5つのポイントが必要だと説明され、ワークをまじえながら講座が進められました。私が私であるために必要なことを自分で3つあげ、その後、グループ、そして全体で共有しました。

最後に自分が1つの生命として、どういう所に身を置くと落ち着くかを見つけ出し、生かされ支えられていると感じながら社会で過ごすことが大切とまとめられました。



“りいぶる”20周年記念事業

りいぶるマルシェ

3月2日(土)りいぶるマルシェを開催しました。延べ324人の方が来館されました！



布小物やカバン、ビーズやアクセサリー作りの体験や販売で賑わいました。



子どもの足の健康をチェック！



お城の動物園をバルーンで再現！吹き矢も子どもたちに大人気でした。



体験型のお店も大好評でした！



スタンプラリーで
きいちゃんグッズ
をゲット！



書評ボランティア
「りいぶるぷらす」
さんのバックナン
バーも勢ぞろい！



たくさんのご来館、ありがとうございました！

イベントレポート その1



語り合い広場 「ホンネを伝える、男のコミュニケーション術」

10月28日(日) “りいぶる” 会議室 A



講師：吉岡 俊介さん

(シニア産業カウンセラー、
キャリア・コンサルタント)

講座は、講師オリジナルのチェックリスト等が参加者の共感をよび、和やかな雰囲気のなか進みました。講師が携わる「男性の悩み相談」から見えてくる男性の課題や男女の役割についての偏見である“ジェンダーバイアス”について、1970年頃の演歌やCMなどの歌詞を引用しながら分かりやすく解説した後、人は感情を表現できないと、怒りがこもって抑うつ状態になることや、「弱い」気持ちや「傷ついた」気持ちを覆い隠そうとすると怒りとなることから、自分の感情や気持ちを表現することの大切さを話されまし

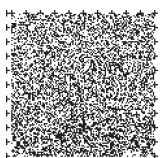
た。また、ワークにより自分のコミュニケーションの傾向を自己分析して、『人は皆、受け止め方が多様である』ことを体験し、きちんと伝えることの重要性を強調されました。例題で実際の受け答えを考えるグループワークでは参加者同士の話が盛り上がり、楽しい雰囲気のなか講座を終えました。

参加者からは、「すぐ実践できるものが多い」「考え方を変えると楽になることが分かった」「人との付き合い方の方法が得られた」などの声がありました。

★4つの極意★

『ホンネを伝える会話は、信頼感のある会話から』

- ①相手を受けとめてから、自分の意見や感想を伝える。
- ②自分のホンネを伝えたいなら、まず相手のホンネを聞く。
- ③否定的なことに触れるときは、肯定的なことにも触れる。
- ④相手に苦言を呈するときは、『私』を主語にして話す。





Part 1 スキルアップ講座

～リーダーとして求められるコーチングを学ぼう！～

日 時：平成30年9月26日（水）10：00～17：00

講 師：尾崎礼佳さん（ウェルビーイングジャパン ファシリテーター）



リーダーとして求められる人間関係や部下とのコミュニケーションを円滑にするスキルとして、コーチングを学びました。コーチングとは「相手の中にある、答えや可能性を引き出すコミュニケーションスキル」のことで、講師は基本的情報や知識を教えるティーチングとの違いを説明しました。コーチングの3つの原則である①答えは相手の中にある ②コーチはそれを引き出すだけ ③100%相手の味方である の考えを基に、アクティブリスニング（相手の安心感を高め、自発性を引き出す傾聴）を学んだうえで、参加者がペアになりコーチとクライアントに分かれて実践しました。



参加者からは「先入観を持たずに相手のことを考え、答えを引き出すことができるようになりたい」「『コーチング』と『ティーチング』を学んだことで、自分に自信がついた」「ロールプレイも交えて実践したことが勉強になった」などの声を聞くことができました。

Part 2

①リーダーシップ研修&

②ロールモデルによるパネルディスカッションと交流会

日 時：平成30年10月23日（火）①10：00～12：30 ②13：30～17：00

①講 師：本庄麻美子さん（和歌山大学経済学部助教、キャリアカウンセラー）

②コーディネーター：本庄麻美子さん（和歌山大学経済学部助教、キャリアカウンセラー）

パネリスト：碓石都茂子さん（損害保険ジャパン日本興亜株式会社和歌山支店課長）

熊谷 仁美さん（株式会社インテリックス ジャストカーテン事業部

ジャストカーテンプレミアム和歌山県庁前店店長）

上本 賀代さん（株式会社サイバーリンクス総合管理部総務企画課課長）



午前は講師より、まず女性リーダーが必要とされる社会背景として、人生100年時代であり急速に少子高齢化が進むなか、男女ともに短時間勤務を利用し、なるべく違う価値観の人を集めることで経済発展を考えることが必要であると説明されました。次にリーダーシップの役割には、①外へ（集団と外界との良好な関係づくり）、②上へ（上司への働きかけ）、③下へ（集団についてきてもらい、まとめる）の3つがあることをはじめ、様々なリーダーシップについて紹介されたうえで、時代が変われば求められるリーダー像も変わるため、ひとつのリーダー像にとらわれず、自分に合ったリーダーシップをとることが大事だと説明されました。

午後は県内で活躍中の3人の女性リーダーを迎え、パネルディスカッションを行いました。それぞれの経験談を聞いた後、「モチベーションの保ち方」「若い部下への対応」などの質問ではそれぞれ三者三様の答えをいただきました。「業種や経験が全く違う3人だからこそ、様々な生き方のイメージができてよかった」などの声を聞くことができました。

2回の講座を通して、自分らしいリーダー像を考える機会となったのではないのでしょうか。

なりたい 自分に なるために はじめての1歩！キャリアデザイン講座

田辺市会場：10月4日（木）10：00～17：00

和歌山市会場：10月11日（木）10：00～17：00

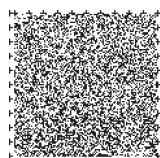
講 師：諸田智美さん（特定非営利活動法人女性と仕事研究所代表理事 女性と仕事コンサルタント）



最初に、キャリアの形成には個人だけでなく、社会背景や課題、そして具体的な解決策を考えていくことが大切であると解説し、講師自身の転職を繰り返した経歴を紹介しながら、転職時には周りの人に相談すること、また日本の女性は自己アピールが苦手で自分に自信のある人が少なく、自分に自信をもつことが重要と話され講座に入られました。キャリアデザインとは自分の「生き方」と「働き方」の両方を考えていくもので、まずは自分の人生を振り返る、キャリアで整理するなどの自分自身を知るワークに取り組みました。

次に日本の女性は結婚・出産で仕事を続けにくいこと、また女性自身が正社員は大変だからと、柔軟な働き方として非正規雇用を選んでしまう現状も話され、力いっぱい働きたいのに十分に働けない女性のジレンマに着目しました。解決策として、家庭内では家事代行やベビーシッターを利用することや、育休中に夫婦で育児・家事を協力しあえる体制を作っておくことをあげられ、また企業側は、管理職が部下から妊娠や育休取得の相談を受けた際の会話のロールプレイを実践するなど、改革を行う重要性を語られました。

会場は異業種交流会さながらの雰囲気、参加者同士で情報交換を行うなど和やかな講座となりました。





「みんなに男女共同参画」提案事業を実施しました！

県内のNPO団体やグループ等を対象に、男女共同参画に取り組む事業の企画を募集し、採択された事業を県内各地で実施しました。

「セクシュアルマイノリティの子供達について考える講座」

開催日：2018年11月3日 場所：田辺市市民総合センター
企画・運営：NPO 法人チーム紀伊水道

セクシュアルマイノリティの基礎知識を解説し、当事者である講師の経験談やこれまでに受けた相談内容をもとに当事者の子どもが抱える悩みや問題を取り上げました。

最後は当事者として悩んでいる児童・生徒との接し方、他の子どもの差別的な言動に対する注意の仕方など、教育現場での実践的な対応を学びました。

「社会の課題をビジネスで解決する起業家精神（スピリット）育成セミナー」

開催日：2018年12月2日
場所：NPO 熊野みんなの家（那智勝浦町）
企画・運営：NPO 熊野みんなの家

男女共同参画の視点に基づき、社会の課題解決につながる起業のあり方について学ぶことを目的に開催されました。講座ではワークシートの質問項目に沿って世の中の課題やその課題を解決するための自身の起業計画を書き出し、それをもとに意見交換を行いました。

「絵本で読み取る男女共同参画」

開催日：2019年2月11日 場所：御坊市中央公民館
企画・運営：歩コミ

親子クラス、大人クラスに分かれて絵本の読み聞かせワークショップを開催。親子クラスでは「ええやん そのままで」などを朗読。「男の子がピンクを好きでもいいし、女の子が黒や青を好きでもいい。自分らしさを大事にして」と伝えました。大人クラスでは、「ひとあしひとあし」などを朗読。「勝負の世界」ととらわれない、そもそも勝負しない選択肢もあると語りかけました。

「ころばぬ先のパートナーシップ ～定年後のより良い関係のために～」

開催日：2019年2月17日 場所：りいぶる会議室A
企画・運営：NPO 法人和歌山eかんばんに

医師である石蔵さんは脳やホルモンの男女の違いを、男性は目標達成志向が強く、女性は共感を重視する傾向があるとし、その違いを理解し合うことが重要と説明。また、定年後、夫が妻に依存し過ぎず、夫婦間の適度なパートナーシップを保つには、ある程度の自立が必要であるとし男性も料理に挑戦することを薦めました。

「お片づけで新しい私に」

開催日：2019年3月2日 場所：県消費生活センター研修室
企画・運営：ファーストステップ

講師は「独身女性が部屋をちらかしていると『だらしない』と思われるのに対し、独身男性だと『早くお嫁さんをもらおうとよい』と、片づけが女性の役割と思われがち」とジェンダー意識の問題を指摘。男女とも積極的に片づけをするには、「片づけの負担感を軽減する工夫が大切」と話し、片づけが簡単にできるコツを説明されました。

来年度も提案事業を募集する予定
ですので、皆さんもふるって応募
ください！

（来年度の募集概要は4月以降にホームページやチラシ等でお知らせします。）

“りいぶる” 図書室

☆スタッフおススメ図書☆



傘寿まり子①～⑧



著者：おざわ ゆき
出版社：講談社

主人公は80歳（傘寿）の小説家、まり子。家出、連載の打ち切り、昔の想い人との再会、ネットカフェでの暮らし…まり子は周囲の人々を巻き込みながら、未知の世界へ果敢にチャレンジし人生を切り拓いていく。その姿は人生100年時代を生きる私たちに希望を与え共感をよぶ。

元氣と勇氣、エールをもらえるコミック。

第42回講談社漫画賞一般部門受賞作品。

日は好日

一「お茶」が教えてくれた15のしあわせ



著者：森下 典子
出版社：新潮社

大学生の時に母の勧めでお茶を習い始めて以来25年、就職でのつまずき、失恋、父の死…どんな時も典子の側にお茶があった。そして雨の音、土の匂いなどお稽古を通して、五感でその一瞬を真正面から受けとめ味わうことを体得する。典子はいつしかお茶に支えられ、やがて「今の自分のままでいいのだ」と心の安定を得ていく。

お茶に初めてふれる人も楽しめる本。著者の自伝エッセイ。

未来を花束にして

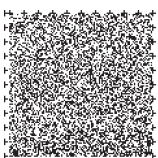
DVD



監督：サラ・ガヴロン
2015年 イギリス

舞台は20世紀初頭のロンドン。洗濯工場の劣悪な環境下で働くモードは、配達途中で、偶然、女性参政権運動の現場と出会い、やがて活動に加わっていく。女性に参政権も親権もなかった時代、暴力や投獄などの圧力にも屈せず、命を犠牲にしてまでも運命を切り拓くために闘った女性たちの実話に基づく物語。

今ある女性の権利を当たり前のように思っている私たちが知るべき、必見の感動作。



りいぶるフェスタ2018

11月24日(土) 和歌山ビッグホエール



みなした
水無田

きりう
気流さん講演会

「居場所」のない男、「時間」がない女

～ワークライフア**ン**バランスな日本社会を考える～

講師：水無田 気流さん(國學院大學経済学部教授)



経済学者ジュリエット・ショアによると、経済の豊かさにかかわらず生活満足度を上げるのは「自由になる時間」と「良好な人間関係」だと言う。日本の男性は職場以外の友人が少なく、先進国で最も『関係貧困』(人間関係の貧困)であり、女性は無償労働が多く先進国の中で一番ハードワーカーで『時間貧困』である。これは、日本が「性別分業」社会で、本人の個性や適性、学歴など後天的な努力で獲得したものより、生まれながらの男女の別(性差)が人生やライフコースに非常に大きく影響するためだと指摘した。

男性の問題としては、自殺、孤独死、引きこもりの割合がどれも全体の70%と高いこと。その原因として、男性は家計責任意識が強いこと(日本では男女とも、家計は夫が支えるべきという考えが約70% スウェーデンは16%)、日本男性の身辺自立(生活的自立)が進んでいないこと、強い男性像にとらわれて弱音をはいけないことなどが考えられる。

一方、女性の問題は、女性は平均男性の5倍の時間を家事に費やしている事実(週全体で1日当たりの家事関連時間が男性は44分。女性は3時間28分。)、高水準の育児を求め

られる(「子育てはいつも楽しい」と感じる母親の割合は、アメリカ67%に対して日本は47%と低い。)、35歳くらいから85歳までの女性は、男性より睡眠時間が短く忙しいのに忙しいと思われていないことなどがあげられる。「常勤の妻」の3分の2が家事を80%以上担い、13.7%の世帯の夫(7人に1人)が全く家事をしないという調査結果も示された。また、女性管理職の割合がわずかに約10%であり、夫の家事育児貢献度が高まると2人目以上の出生率も上がるというデータもあると紹介された。

最後に水無田さんは、日本型性別分業を越えて幸せになるためには「女性を企業のメンバーに」「男性を家庭・地域社会のメンバーに」を同時に進める、男性片働きで女性が家事育児を多く担う標準世帯を前提とした社会のあり方を見直さなければならない。そのためには、同一労働同一賃金、労働時間の短縮、有給休暇取得の促進などについて、全方位的な雇用環境の改善、男女問わず総合的な働き方・暮らし方の見直しが必要であると話され、『働き方改革』とともに『暮らし方改革』を!と結ばれた。

◆「男女でつくる元気な和歌山」ポスターコンクール最優秀賞表彰式◆

最優秀賞受賞作品 おめでとうございます!



小学生低学年の部



おちあい
落合 莉望さん

(有田市立保田小学校2年)

小学生高学年の部



かじもと
梶本 綾乃さん

(和歌山市立吹上小学校5年)

中学生の部



かわしま
川島 幸乃さん

(和歌山市立紀伊中学校3年)

高校生の部



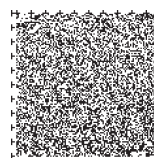
さこ
裕 悠里子さん

(和歌山市立和歌山高等学校2年)

ブースでは、デートDVのアンケートとポスター展示を行いました。



たくさんの方のみなさまのご来場、ありがとうございました!



自分を大切にするために…。 “りいぶる” 相談室
相談受付専用ダイヤル **073(435)5246**

相談は無料。専門の相談員がお話をうかがいます。
秘密は厳守します。ナンバーディスプレイは使用していません。

総合相談

家庭や職場のこと、生き方への不安など、様々な悩みや相談に女性相談員が応じます。

電話相談

〇水〇木〇金〇土〇 9:00～20:30
(受付は20:00まで)

〇〇〇〇〇〇日 9:00～17:00
(受付は16:30まで)

面接相談 【予約制・女性のみ】

〇水〇木〇金〇土〇 9:00～17:30
(受付は16:30まで)

〇〇〇〇〇〇日 9:00～16:00
(受付は15:00まで)

女性のためのカウンセリング

女性が抱えるこころの問題に女性カウンセラーが応じます。

面接相談または電話相談

〇〇〇〇金〇〇 13:00～15:40
※第2・第4金曜日

予約制、各日3人まで。
相談時間は1人40分。

女性のための法律相談

夫婦、財産相続、金銭問題等、女性にとって身近な法律上の問題に女性弁護士が応じます。

面接相談のみ

月3～4回 13:00～14:50

※日程は“りいぶる”まで
ご確認ください。

予約制、各日3人まで。
相談時間は1人30分。

男性のための電話相談

職場のストレスをはじめ、夫婦・家族・人間関係などの様々な問題に男性相談員が応じます。

〇水〇〇〇〇〇 16:00～20:00
(受付は19:30まで)

※毎月第2水曜日
予約優先(匿名可)
相談時間は1人40分程度

性暴力について
相談したい…

性暴力救援センター和歌山
マイン
わかやま mine

(和歌山県立医科大学附属病院内)

◆相談受付専用ダイヤル

〇ーエンキューキュー
073-444-0099

○相談 毎日/9:00～21:30
○緊急医療 毎日/9:00～22:00

こころとからだの回復のために、女性支援員が細やかな支援を行います。
ひとりで悩まずに相談してください。



☆表紙デザインについて☆

作者の中畑康代さんは、CMやWebページのイラストの他、グラフィックデザインやセラミックアートも手がけ、交通安全デザインポスターコンクールで3度、内閣総理大臣賞を受賞されるなど活躍中のクリエイターです。デザイン工房・陶ギャラリー「つくりん房」を主宰しています。表紙は、好奇心旺盛な童が自分らしい人生を何色で描こうかワクワクしながら、和歌山の上空を飛んでいる様子が描かれています♪ “りいぶる”はフランス語で「自由な(libre)」という意味で、センターの愛称です。

【2019年度 開催予告！】

●男女共同参画 特別公開セミナー

「瀬地山 角さん講演会」(東京大学教授)

開催日時：6月27日(木) 19:00～20:30

場所：和歌山ビッグ愛1F大ホール

●「はじめての男女共同参画エキスパンダー養成講座(基礎編)」in有田

開催日時：6月1日、15日、29日いずれも土曜日 10:30～15:30(予定)

場所：有田振興局大会議室

●「はじめての男女共同参画エキスパンダー養成講座(実践編)」in橋本

開催日時：7月20日、8月3日、24日いずれも土曜日 10:00～15:00(予定)

場所：橋本市教育文化会館



◆発行 和歌山県男女共同参画センター “りいぶる”

〒640-8319 和歌山市手平2丁目1-2
県民交流プラザ和歌山ビッグ愛9F

T E L (073) 435-5245

F A X (073) 435-5247

《メールアドレス》 libre@sirius.ocn.ne.jp

開館時間 火曜～土曜：午前9時～午後9時

日曜：午前9時～午後5時30分

休館日 毎週月曜・国民の休日(祝日)

年末年始(12月29日～1月3日)

りいぶる 検索

フェイスブックも更新中♪

—企画・編集 特定非営利活動法人 和歌山eかんばんにい—